Microlon-Shop.com
Metal treatment technology
www.microlon-shop.com

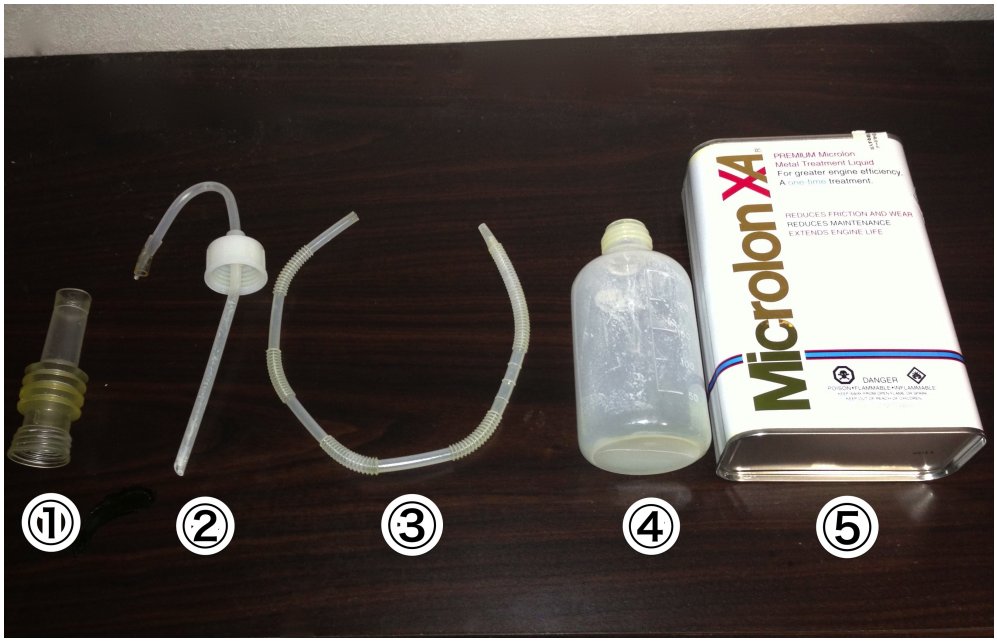
マイクロロン取扱説明書（4 輪車）

対照商品：マイクロロンメタルトリートメントリキッド、マイクロロン XA、マイクロロンハイブリッド

マイクロロンをご購入頂きありがとうございます。
Microlon-Shop.com オリジナルのマイクロロン取扱説明書です。
マイクロロンに同封されております取扱説明書と合わせて御覧ください。
この取扱説明書では写真にマイクロロン XA を使用していますが、施工の手順はマイクロロンメタルトリートメントリキッド、マイクロロンハイブリッドも同じです。

注意事項
マイクロロンは他のオイル添加剤と違い、洗浄剤を多く含んだ粘度の低い液体です。
そのため、適量以上の注入・時間をかけず一気に注入・注入直後のアクセルを多く踏み込む運転等をしますと、エンジンを痛め、最悪故障の原因となります。
必ず用法・用量を守って正しくお使いください。

①計量ボトル注入用ノズル　②③レベルゲージ注入用ノズル　④計量ボトル　⑤マイクロロン缶



◯施工手順

・４ストロークエンジンのお車（普通のお車は４ストロークです）

１，エンジンオイル及びオイルフィルター（オイルエレメント）を交換してください。

エンジンオイルの注入量は、マイクロロンの注入量を差引いたものである必要はありません。

必ず通常通りのエンジンオイル量で交換してください。（マイクロロンの液体成分の多くは洗浄液のためしらばくすると消散し、オイル量も元に戻ります）

※オイル、フィルターの交換に自信の無い方は、お近くのディーラーやカーショップでの交換をお奨めします。

※マイクロロンはエンジンオイルに対して化学的影響を与えないため、普段お使いのオイルで問題ありません。

※マイクロロン注入後はしばらくエンジンを切れない為、あらかじめガソリンもある程度給油しておくことをお奨めします。

２，エンジンを始動させ、十分にエンジンを暖めてください。約８０度～９０度くらいまで水温が上昇しましたら適温です。３０分程度ドライブすれば十分でしょう。

特に**ハイブリットカーは停車時にはエンジンが動いていませんので、アイドリングではなく、しばらく走行してエンジンを暖めてください**。エンジンはマイクロロン注入後３０ km 走行するまで切らないでください。

３，マイクロロンの缶（写真⑤）を２分～３分間よく振ってください。

―マイクロロン XA の施工の場合、ここから先は付属のビニール手袋を着用してください。―

４，マイクロロンの缶から計量ボトル（写真④）にマイクロロンを移します。

写真①のノズルをマイクロロンの缶に装着し、計量ボトル（写真④）に注いでください。

注ぐ量は、６ Ｐのマイクロロン注入量を参照してください。

計量ボトルでは 250cc まで計ることができます。それを超える量を注入する場合は何度かに分けて注入してください。

５，計量ボトルに写真②③の注入用ノズルを取り付けます。

６，マイクロロンを注入する車のオイルレベルゲージの場所を確認してください。

通常、黄色やオレンジの取っ手がついた細い管がオイルレベルゲージです。

※オイルレベルゲージの無いお車の場合、エンジンオイル交換時にマイクロロンの必要量をエンジンオイルと良く混ぜあわせ、オイル注入口から注入してください。この場合も、交換するオイル量はマイクロロン注入量を差引いたものである必要はありません。

7，オイルレベルゲージを引抜きます。

注意

・お車によってはエンジンを掛けたままオイルレベルゲージを引き抜くと、オイルレベルゲージ孔からエンジンオイルが吹き出す場合があります。十分に注意して作業してください。その場合は、エンジンを切って作業を進めてください。

8，オイルレベルゲージ孔に過程５の注入ノズルを差し込み、**２分～３分かけて**ゆっくりとマイクロロンを注入していきます。

マイクロロンが余った場合には、**燃料１㍑につきマイクロロン２ cc を燃料給油口に注入してください。**（これは一気に入れて問題ありません。）

注意

・ターボ車、ロータリー車、ディーゼル車、チューニング車、ポルシェ 911 系及びエンジンオイル量４㍑以上のお車は、注入量の半分を注入し、すぐに２時間程度走行（エンジン回転数は控えめに）後、１～８と同じ手順で残りの半分を注入してください。

・くれぐれもオイル注入口からマイクロロンを注入しないように気をつけてください。

・エンジンをかけた状態ですので、タイミングベルトやファンに洋服などが巻き込まれないよう十分注意して作業してください。

９，注入が完了しましたら、オイルレベルゲージを元に戻し、エンジンを切らずに（過程７でエンジンを切っていた場合はすぐにかけ直し）３０ｋｍ以上走行してください。
しばらくはエンジンオイルの粘度が下がった状態になりますので、**１００ｋｍ以上走行するまでは、エンジンを高回転まで回したり、アクセルを大きく踏むような運転は避けてください。**
一度に１００ km 走行する必要はありませんが、可能な限り短い期間で慣らし運転を完了させるとより一層効果が得られます。

１０，施工完了です。お疲れ様でした。

・２サイクルエンジン

１，エンジンオイル及びオイルフィルター（オイルエレメント）を交換してください。
エンジンオイルの注入量は、マイクロロンの注入量を差引いたものである必要はありません。
必ず通常通りのエンジンオイル量で交換してください。
※オイル、フィルターの交換に自信の無い方は、お近くのディーラーやカーショップでの交換をお奨めします。
※マイクロロンはエンジンオイルに対して化学的影響を与えないため、普段お使いのオイルで問題ありません。

２，マイクロロンはオイルレベルゲージからではなく燃料給油口から注入します。
４サイクルエンジンの手順２～５を参考に下準備し、燃料の給油の度に、給油する燃料１ﾘｯﾄﾙにつきマイクロロン１０ cc を燃料給油口から注入してください。（ゆっくり注入する必要はありません）
マイクロロンの缶が空になるまでこれを繰り返して施工完了です。

排気量 400cc までの車→８ oz（約 227cc）のマイクロロンが無くなるまで。 排気量 401cc 以上の車→16oz（約 455cc）のマイクロロンが無くなるまで。

◯マイクロロン注入量

必要量以上にマイクロロンを注入しますと、最悪エンジンの故障の原因となります。

注入量を間違えないよう正確に計算してください。

それぞれ施工方法は異なりますので、施工手順を確認の上注入してください。

４輪車

・４サイクルエンジン（ディーゼルエンジン含む）

現在、ほぼすべての車が４サイクルエンジンのため、特殊な車両を除きこの注入量で計算してください。

エンジンオイル１ﾘｯﾄﾙに対し、マイクロロン 80cc（約 2.7oz）を注入

（例：エンジンオイル容量 3.5ﾘｯﾄﾙのお車の場合、マイクロロン 280cc を注入。3.5×80=280）

マイクロロンが余った場合、ガソリン・軽油１ﾘｯﾄﾙに対し、マイクロロン 2cc を注入

・２サイクルエンジン

排気量 400cc までの車→８ oz（約 227cc）のマイクロロンを注入

排気量 401cc 以上の車→16oz（約 455cc）のマイクロロンを注入

・ポルシェ 911 系

32oz の７分の６（約 804cc）をエンジンオイルに、７分の１（約 134cc）を燃料に注入